

平成 29 年 6 月 16 日現在

機関番号：24501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25370835

研究課題名(和文) 近現代南アジアにおける軽工業製品雑貨：広域流通、政治・文化表象、慈善

研究課題名(英文) Light industry products in modern India: Intra-regional circulation, political/cultural representations and philanthropy

研究代表者

大石 高志(OISHI, Takashi)

神戸市外国語大学・外国語学部・准教授

研究者番号：70347516

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：近代インドに消費財として台頭した特定の軽工業製品、特に、硝子装身具、香水・香油、ビーディー(タバコ)、マッチを取り上げて、市場形成や消費の局面で生じた政治・文化的な表象、生産や労働の特質、事業家によって付随的に展開された慈善・宗教の活動を、明らかにする探求を行った。社会経済的中下層の台頭・上昇が自己表象や社会的顕示を帯同した商品の消費を誘発したこと、こうした商品の多くは正統・伝統的な物品や高価な外来輸入品を「模造」するかたちで製造・商品化されたこと、宗教・慈善・教育の施設が設けられて労働集約型の中小製造所群の労働者を社会的に包摂する試みがあったことを明らかにして、国内外に研究成果を問うた。

研究成果の概要(英文)： Modern India saw the rise of particular products/goods as the major consumer goods. This research put focus on glass ornaments, perfumes, beedi(tobacco) and matches, to explore the political/cultural representations accompanied in the consumption of these goods. In addition, it analyzed the structure of production/labour as well as the social context of religious/philanthropic endeavors shouldered by the producers/merchants. The research illuminated important dynamics related with these issues and presented them to scholars in and outside Japan. Gradual empowerment of lower and lower-middle classes induced the appearance of those goods which should embody their new self-representation and social assertion. In such consumption, the goods needed to be the imitation of authentic/traditional goods or high-priced imported goods. Religious/philanthropic projects were occasionally launched to accommodate workers in dispersed small units under labour intensive production system.

研究分野：南アジア近現代史 環インド洋地域史 ムスリム社会論

キーワード：軽工業製品雑貨 インド人商人 ガラス製装身具 タバコ 香水 マッチ 模造 消費

1. 研究開始当初の背景

(1)当該研究者は、近現代インド史(南アジア史)および環インド洋地域史を専門としており、本研究課題の前段階として、基盤研究(C):平成18-21年度「近現代南アジアを焦点とした商業・商人文書の研究:広域ネットワークとその地域接合」、そして、基盤研究(C):平成22-24年度「近代南アジアにおける消費と社会編成:軽工業製品の政治的物象化を焦点として」などを、研究代表者として遂行・実施していた。これらのなかで、とくに、近現代のインドおよび環インド洋諸地域(さらに日本など東アジアを含む)におけるインド人商人の広域的な移動と還流、そして、それらのなかで流通・市場形成を促された物品やその社会・政治的文脈の解明を試みていた。

(2)自身の研究を通じて、近代インドに消費財として急速な流通と市場形成を見たいいくつかの物品・商品を、より明確そして具体的に分析対象として設定することの可能性や必然性を看取・理解したことが、当該の基盤研究(C)平成25-28年度「近現代南アジアにおける軽工業製品雑貨:広域流通、政治・文化表象、慈善」の背景にあった。

2. 研究の目的

(1)当該の基盤研究(C)平成25-28年度「近現代南アジアにおける軽工業製品雑貨:広域流通、政治・文化表象、慈善」の目的は、近代インドで急速に消費財もしくは一般商品として台頭した硝子装身具、香水・香油、ビーディー(タバコ)、マッチ(燐寸)を研究対象として、消費、製造、労働、事業家の社会性などを総合的もしくは相互連関的に検証することにあった。

(2)特にこの際、これらの特定商品の消費や市場形成の基盤もしくは母体となった社会・経済的中下層の人々の歴史的動態に注意を払う必要が生じていた。というのは、こうした人々の経済的上昇や社会的顕示性の高まりが、これらの商品の消費と結びついていた可能性が想定されたからである。

3. 研究の方法

(1)当該研究者は、研究の未開拓な状況を打開するために新たな資料群の探求とその検証を行ってきた。これは、自身が受託した基盤研究(C):平成18-21年度「近現代南アジアを焦点とした商業・商人文書の研究:広域ネットワークとその地域接合」からの継続的な試みともなっている。本研究課題においても、インド等での実地調査と資料収集(企業家や商人などの面談調査を含む)を継続して行った。

(2)本研究課題で扱う特定の商品もしくは消費財について、一次資料に即して具体的に検証することが前提となるので、それらの製品を製造した事業者や会社、そして、それらが残した資料の探索やアクセスを、常に試みた。

さらに、社会・経済的中下層の人々の経済・社会的上昇と商品との連関を示す広告や販促関係の媒体なども積極的に収集資料の対象に含めた。

4. 研究成果

(1)本研究課題の実施・遂行により、社会経済的中下層の台頭・上昇が自己表象や社会的顕示を帯同した商品の消費を誘発したこと、こうした商品の多くは正統・伝統的な物品や高価な外来輸入品を「模造」するかたちで製造・商品化されたこと、こうした「模造性」はインド人の既存エリートとの間の社会的距離や隔絶性を具現化するものとなっていたこと、宗教・慈善・教育の施設が設けられて労働集約型の中小製造所群の労働者を社会的に包摂する試みがあったことなどを、一次資料に基づく具体的な商品の解析を伴う形で、相当程度、明らかにすることができた。

例えば、英領インドに戦前の日本から大量に輸入されていたガラス製品、なかでも腕輪やビーズ、小瓶は、それ以前に社会的上層や富裕層の間で一般的であった伝統的な装身品(金やサンダルオイルなど)との模造・差別化の関係性の中で、それらを消費する新興中下層の社会・経済・文化的な自立化を体現していたことを実証的に明らかにした。また、ビーディーに関しては、それが、インド人エリートや富裕層のなかで急速に普及していた輸入シガレットを代替する安価で軽便な喫煙タバコとして20世紀初頭にインド国内原料を用いて創作され、中下層の間に、既存エリートを擲擄する文化・社会的文脈を伴って消費されたことを明らかにした。

(2)本研究は、国内外で遂行されてきたインド近代史に関する研究との間に、連続性や相関性を有している。たとえば、柳澤悠『現代インド経済:発展の淵源・軌跡・展望』(名古屋大学出版会2014年)により今後の研究への指針付けを与えられた社会経済的中下層の動態をめぐる議論や、杉原薫「植民地期における国内市場の成立」(『現代インド、1 多様性社会の挑戦』東京大学出版会2015年)により検証の枠組みや問題提起がなされた国内市場型商品の研究、Haynes, Douglas et.al. ed. *Towards a History of Consumption in South Asia* (Oxford University Press 2010)などにより先鞭がつけられた消費史研究である。

(3)研究成果は、日本における関連の代表的学会である社会経済史学会や日本南アジア学会、さらに、国際的な学会である世界経済史会議(WEHC)や国際ベンガル学会などで発表したほか、関連研究プロジェクトであるINDAS(「現代インド地域研究」「南アジア地域研究」)などでも、発表の機会をもった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 6 件)

大石高志「近代インドの社会動態と日本製輸出雑貨との連関：模倣・模造・差別化の中の装身品」『社会経済史学』、査読有、82 巻 3 号、11 - 34 頁、2016 年

大石高志・神田さやこ「問題提起：20 世紀前半におけるインド社会経済の変容と日印貿易関係：消費、表象、アイデンティティ」査読有、82 巻 3 号、3 - 9 頁、2016 年

大石高志「近現代インドにおけるビーデー：歴史と文化」公益財団法人たばこ総合研究センター『平成 27 年度助成研究報告書』、査読無、108 - 131 頁、2016 年

http://www.tasc.or.jp/assist/archives/h27/pdf/2015_01B_ohishi.pdf

秋田茂・井坂理穂・石坂晋哉・大石高志・井上貴子「座談会(ガーンディー帰国後 100 年記念特集): ガーンディー再考」『南アジア研究』査読有、第 27 号、7-45 頁、2016 年

<http://doi.org/10.11384/jjasas.2015.7>

大石高志「関西館アジア情報室が収集する南アジア地域刊行資料について」国立国会図書館『アジア情報室通報』、査読無、第 14 巻第 3 号、2-6 頁、2016 年

<https://rnavi.ndl.go.jp/asia/entry/bulletin14-3-1.php>

大石高志「ヒラーフアト運動とムスリム商人・起業家のネットワーク」『南アジアとイスラーム: 知的ネットワークと民衆運動』(NIHU Research Series of South Asia and Islam 1) 人間文化研究機構地域間連携研究の推進事業「南アジアとイスラーム」(NIHU プログラム「イスラーム地域研究」現代インド地域研究) 連携) 査読無、51-66 頁、2013 年

〔学会発表〕(計 14 件)

大石高志「近代インドにおける国内市場型商品としてのビーデー(煙草)の成立：旧中央州の製造拠点形成と連関した地域経済と広域流通の動態を中心にして」、社会経済史学会第 86 回全国大会、慶応大学(東京都・港区)、2017 年 5 月 27 日

大石高志「現代インドにおけるビーデーの退潮：経済・社会・文化的な歴史ダイナミズムの中での位置づけ」、KINDAS 研究グループ 1-B「南アジアの開放経済」2016 年度第 3 回研究会、京都大学(京都府・京都市)、2017 年 2 月 12 日

Takashi Oishi, "Kobe-India Historical Connectivity in the Circular Dynamics of South Asia and Indian Ocean World" (学会報告及び要旨集掲載) 日本南アジア学会第 29 回全国大会実行委員会編『日

本南アジア学会第 29 回全国大会報告要旨集』、査読無、31-33 頁、神戸市外国語大学(兵庫県・神戸市)、2016 年 9 月 24 日

Takashi Oishi, "Indian merchant intra-regional networks and Kobe: conjunctions and circulation in trade, assets and religion" (学会報告及び要旨集掲載) 日本南アジア学会第 29 回全国大会実行委員会編『日本南アジア学会第 29 回全国大会報告要旨集』、査読無、36-37 頁、神戸市外国語大学(兵庫県・神戸市)、2016 年 9 月 24 日

大石高志「インド人商人の広域ネットワークと神戸：貿易、資産、宗教における接合と遺流の歴史的動態」、日本南アジア学会関連研究会「神戸とインド」第 1 回、2016 年 4 月 7 日、こうべまちづくり会館(兵庫県・神戸市)

Takashi Oishi, "Japan-India Trading Network: A Case Study of Match Industry in the Modern Period" (国際シンポ報告及び要旨集掲載)、JSPS(日本学術振興会)&ICHR(インド歴史学協会)、International Symposium on Economic History: Inaugural Symposium celebrating the Collaboration of Indo-Japan Historical Studies 5-6th January 2016, 査読無、p.18、国際センター(デリー・インド国)、2016 年 1 月 6 日

Takashi Oishi, "Pleasure, Subjugation and Nation: A Complexity in the Consumption of Luxury Goods in the Colonial Frontier of Assam and Bengal in the Early Twentieth Century" (国際学会発表) 国際ベンガル学会第 4 回大会日本委員会編 The 4th International Congress of Bengal Studies (2015) Abstract Book, pp.209-211、東京外国語大学(東京都・府中市)、2015 年 12 月 13 日

大石高志「植民地期インドにおける開放型経済の規定性、援用性、多様性：農林工接合型の産業形成と在地社会の環境動態との連関に着目して」(研究会報告) 現代インド地域研究(INDAS) 京都大学中心拠点(KINDAS) 研究グループ 1-B「南アジアの開放経済」第 2 回研究会、京都大学(京都府・京都市)、2015 年 11 月 14 日

大石高志「ビーデー：商人ネットワークを介した矮小・分散生産体制と喫煙文化の歴史的形成」(学会発表) 日本南アジア学会第 28 回大会『日本南アジア学会第 28 回全国大会報告要旨集』、東京大学(東京都・文京区)、2015 年 9 月 27 日

Takashi Oishi, "Traded Goods and the Socio-Economic/Cultural Transformations in Asian

Intra-regional Context: The Cases of Ornaments and Matches in Modern India” (国際ワークショップ発表) 京都大学財団助成国際ワークショップ“Complexity of Innovative Colonial Milieu: Socio-Economic Transformation in the Colonial Ports and their Hinterlands in Modern Asia, 1850s-1940s” (共同組織者も兼務) 京都大学(京都府・京都市) 2015年8月10日

Takashi Oishi, “Ornaments in the Commodity Diversity/Plurality of Modern India: Ecological Backgrounds, Socio-Economic Dynamism and Imported Goods” (国際学会発表) World Economic History Congress, 2015 Kyoto, Session “Diversity-driven Dynamics of Economic Development: Ecological Constraints, Labour-intensive Production and Socio-cultural Representations of Consumption in Modern South Asia”(セッション組織者も兼務) 京都国際会議場(京都府・京都市) 2015年8月7日

大石高志「日本製輸出雑貨と近代インドの市場動態との連関：装身具と嗜好品を中心にして」(学会発表) 社会経済史学会第83回全国大会パネル「20世紀前半におけるインド社会経済の変容と日印貿易関係：消費、表象、アイデンティティ」(組織者：大石高志・神田さやこ) 同志社大学(京都府・京都市) 2014年5月25日

大石高志「社会的多様性と経済動態との接合局面に関する探求：商品分析を通じて」(研究会報告) 現代インド地域研究 (INDAS) 京都大学中心拠点 (KINDAS) 研究グループ1研究会「近代インドにおける経済動態と多様性」, 京都大学(京都府・京都市) 2014年4月4日

大石高志「移民と食糧・生存基盤：南部アフリカにおけるインド人/中国人移民労働者とその周辺」神戸華僑華人研究会第151回例会、中華総商会ビル(兵庫県・神戸市) 2014年6月14日

[図書](計 2 件)

日本南アジア学会第29回全国大会実行委員会編(大石高志：実行委員長；福味敦：事務局長)『日本南アジア学会第29回全国大会報告要旨集』、1-157頁、2016年

大石高志「環インド洋世界とインド人商人・起業家のネットワーク：植民地期における複合性・多様性」, 田辺明生・杉原薫・脇村孝平編『多様性社会の挑戦(現代インド第1巻)』、東京大学出版会、169-196頁、2015年

[その他]

ホームページ等

所属大学個人教員ページ

<http://www.kobe-cufs.ac.jp/institute/faculty/oishi.html>

「南アジア地域研究」プロジェクト 京都大学中心拠点 グループ1

<http://www.indas.asafas.kyoto-u.ac.jp/kindas/research-group-1>

日本南アジア学会第29回全国大会

<http://jasas.info/wp-content/uploads/2016/09/2016-program-0908.pdf>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

大石 高志 (OISHI, Takashi)

神戸市外国語大学・外国語学部・准教授

研究者番号：70347516